

## ■令和6年度 IMSグループ喀痰吸引等の研修 カリキュラム

日時		大項目		中項目
1 日目	5/8(水)	9:00~10:30	講義	1. 人間と社会 1)介護職員と医療的ケア 2)介護福祉士が喀痰吸引等を行うことに関わる制度
		10:30~12:30		2. 保健医療制度とチーム医療 1)保健医療に関する制度 2)医行為に関する法律 3)チーム職員と介護職員との連携
		13:30~16:30	講義	3. 清潔保持と感染予防 1)感染予防 2)職員の感染予防 3)療養環境の清潔、消毒法 4)滅菌と消毒
2 日目	5/9(木)	9:00~13:00	講義 演習	4. 安全な療養生活 1)喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 2)救急蘇生法
		14:00~17:00		5. 健康状態の把握 1)身体・精神の健康 2)健康状態を知る項目(バイタルサインなど) 3)急変状態について
3 日目	5/20(月)	9:00~12:00 13:00~17:00	講義	6. 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論 1)消化器系の仕組みとはたらき 2)消化・吸収とよくなる消化器の症状 3)経管栄養とは 4)注入する内容に関する知識 5)経管栄養事実上の留意点 6)子どもの経管栄養について 7)経管栄養に関する感染と予防 8)経管栄養をうける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 9)経管栄養に生じる危険・事後の安全管理 10)急変・事故発生時の対応と事前対策
4 日目	5/21(火)	9:00~12:00 13:00~17:00	講義	7. 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」概論 1)呼吸のしくみとはたらき 2)いつもと違う呼吸状態 3)喀痰吸引とは 4)人口呼吸器と吸引 5)子どもの吸引について 6)吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 7)呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して) 8)喀痰吸引により生じる危険・事後の安全確認 9)急変・事故発生時の対応と事前対策
5 日目	5/23(木)	9:00~13:00 14:00~18:00	講義 演習	8. 高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説 1)たんの吸引で用いる器具・機材とその仕組み、清潔の保持 2)吸引の実技と留意点 3)喀痰吸引に伴うケア 4)報告及び記録
6 日目	5/27(月)	9:00~13:00 14:00~18:00	講義 演習	9. 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説 1)経管栄養で用いる器具・機材とその仕組み、清潔の保持 2)経管栄養の実技と留意点 3)経管栄養の吸引に伴うケア 4)報告及び記録
7 日目	5/29(水)	9:00~10:00	筆記 試験	出題30問、60分以内、9割以上合格(27点以上) 不合格者は11時~12時補講
		11:00~18:00	演習	各行為のシミュレーター 1)喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管) 2)経管栄養(胃ろう・経鼻)
8 日目	5/30(木)	9:00~18:00	演習	各行為のシミュレーター 1)たんの吸引(口腔・鼻腔・気管) 2)経管栄養(胃ろう・経鼻)